

## 開 催 趣 意

「獣医師」は、牛や馬、豚などの産業動物をはじめ、犬や猫などの家庭動物の診療の提供を担う専門職としてイメージされていますが、獣医師は動物の疾病の予防、診断、治療等の診療活動だけではなく、実に幅広い分野において様々な職務に従事しています。

たとえば、家畜防疫分野の獣医師は、動物の輸出入検疫をはじめ、家畜の伝染性疾病の予防、診断、調査、研究に、また、公衆衛生分野の獣医師は、食肉・鶏卵や乳製品などの畜産食品の安全性の確保や人と動物の共通感染症の予防対策等に、バイオメディカル分野の獣医師は医薬品の研究・開発等に従事しています。その他にも、獣医学系大学や試験研究機関では獣医学研究や獣医学課程に学ぶ学生の教育に、そして動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育などの動物愛護・福祉分野、さらには動物園動物の診療や野生動物の保護・管理等の仕事など、獣医師の職務範囲の全てが私たちの健康で安全・安心な生活に直結しています。

最近では、牛海綿状脳症（BSE）や高病原性鳥インフルエンザなどの脅威から国民の健康を守る最前線で活躍し、国産食肉・鶏卵等の安全性への信頼回復等に大きく貢献するなど、動物の生命・健康に関わる診療活動のみならず、国民の食の安全確保を通じて、国民の意識が高まっている食糧自給率の向上や、近年海外からの帰国者に発生し、注目が高まっている狂犬病や新型インフルエンザに代表される人と動物の共通感染症対策の他、海外からの動物の感染症の侵入防止などについても重要な責務を担って社会に貢献しています。また、動物愛護・福祉や野生動物対策をはじめとする環境保全対策を推進する上でも獣医師に対する期待が一層高まってきています。

日本獣医師会は、日夜努力を続ける獣医師の仕事の全体像を紹介し、獣医師とその職務への社会的理解を深めるとともに、人と動物の共生社会を目指す上で獣医師と市民との間にさらなる良好な関係を築くため、2007年、2008年の2回に渡り動物感謝デー“World Veterinary Day”を開催し、幅広い年齢層から多くの参加者に来場いただき、動物とのふれあい等の様々な行事に参加していただきました。

本年においても、日本獣医師会を中心として、動物医薬品業界やペットフード業界等の動物関連業界をはじめ、地方獣医師会、獣医学系大学、獣医療関係団体、畜産関連団体、動物愛護団体等、より多くの動物関連企業・団体の皆様にご協力いただき、一層意義ある行事として、「2009 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」を開催することとしています。

つきましては、その開催にあたりまして、関係各位のご理解をいただき、開催に向けての協力と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 21 年 5 月  
社団法人 日本獣医師会  
会 長 山 根 義 久